

管内における感染症発生状況

2026/2/20 保健対策課

内容

- 1 全数届出疾患の状況
- 2 集団発生の状況
- 3 今年度のトピック

<集計期間の違いについて>

感染症はサーベイランス方法により、集計期間がそれぞれ異なります。

- ・全数届出疾患・定点把握疾患（国）：感染症週1～51週（1月1日～12月31日）翌年確定

注：結核のみ一部10月1日付の人口動態を考慮するため翌々年確定

- ・積極的疫学調査数、事業等（都）等：年度（4月1日～3月31日）ただし、一部の疾患における集団発生報告は期間が異なるものがあります。

全数届出疾患発生届出数（2021～2025年）

※当所受理数

	総計	2類	3類		4類						5類															
		A 結核	細菌性 赤痢	腸管出 血性大 腸菌感 染症	A型肝 炎	E型肝 炎	エム ポック ス	オウム 病	チクン グニア 熱	レジオ ネラ症	アメー バ赤痢	ウイル ス性肝 炎	カルバ ペネム 耐性腸 内細菌 目細菌 感染症	クロイ ツフェ ルト・ ヤコブ 病	劇症型 溶血性 レンサ 球菌感 染症	後天性 免疫不 全症候 群（H IV感 染症を	侵襲性 インフ ルエン ザ菌感 染症	侵襲性 髄膜炎 菌感染 症	侵襲性 肺炎球 菌感染 症	水痘 （入院 例）	播種性 クリプ トコッ クス症	破傷風	梅毒	百日咳	麻しん	薬剤耐 性アシ ネトバ クター 感染症
2021年 R3	210	73		19		4			16	4	2	14		4	6	1		8	2		1	55	1			
2022年 R4	227	75	1	19		6			8	3		11	1	3	6	2		8	2			77	3			
2023年 R5	289	82		42		7	2		15	2	1	14	1	11	4	1		13	4	1		82	7			
2024年 R6	244	65		26	1	2		1	20	2		12	1	8	3	2		13	1	1		D 77	E 9			
2025年 R7	550	63		B 54	1	3		1	C 8	1	3	4	1	7	2	5	1	20	2	1	1	78	289	2	1	

傾向：A 管内の医療機関で診断される結核患者数は減少傾向

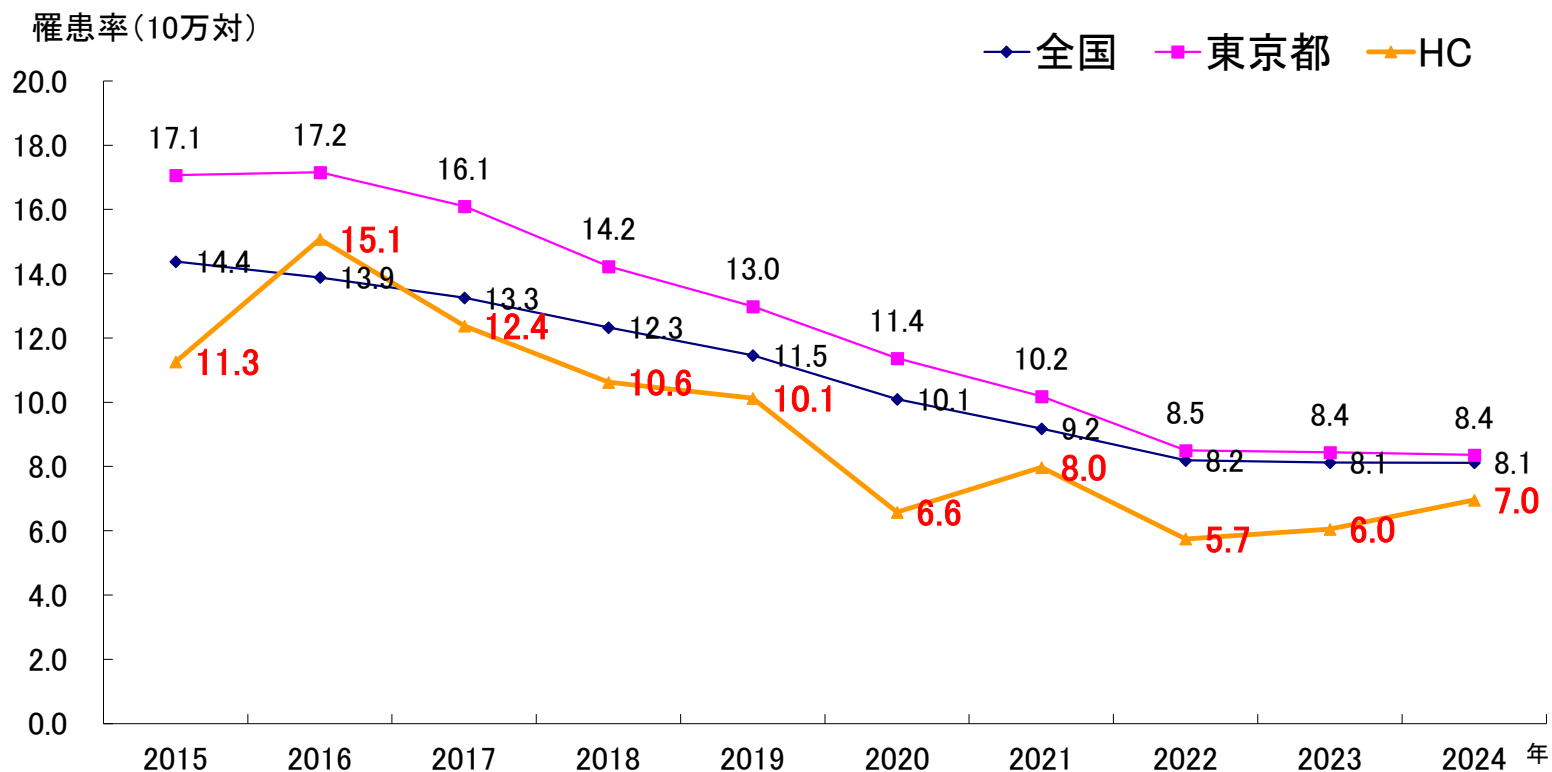
B 腸管出血性大腸菌感染症は食品工場の定期検便により無症状性病原体保有者となる外国人が一定数：当所の特徴
沖縄修学旅行関連の食中毒事例があり、報告数が増加

C レジオネラ症は届出数が減少

D 梅毒は高止まりで推移

E 百日咳の流行により届出数は急増

結核罹患率の推移 (2014~2024年)

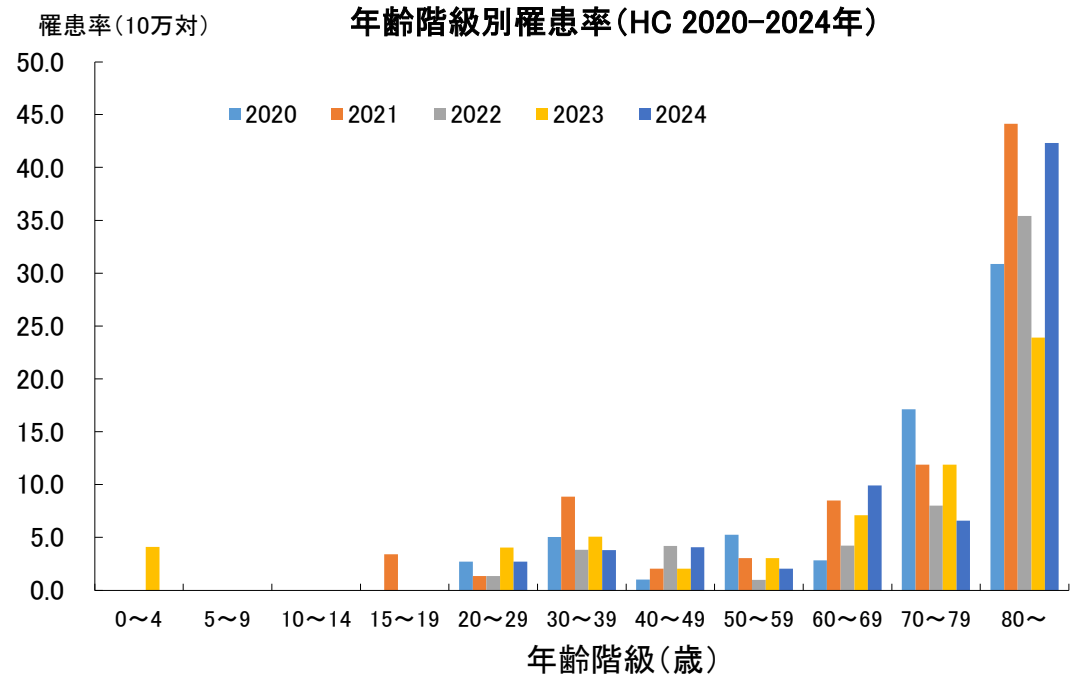
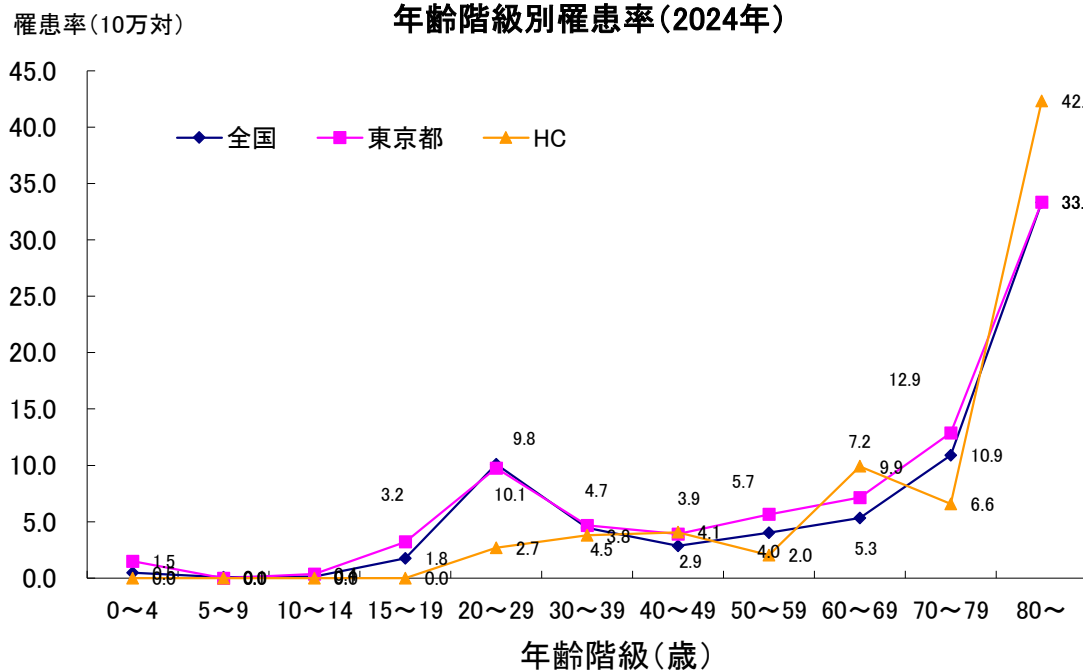


管内新規登録者数

西暦	患者数(人)
2020年	43
2021年	53
2022年	38
2023年	40
2024年	46

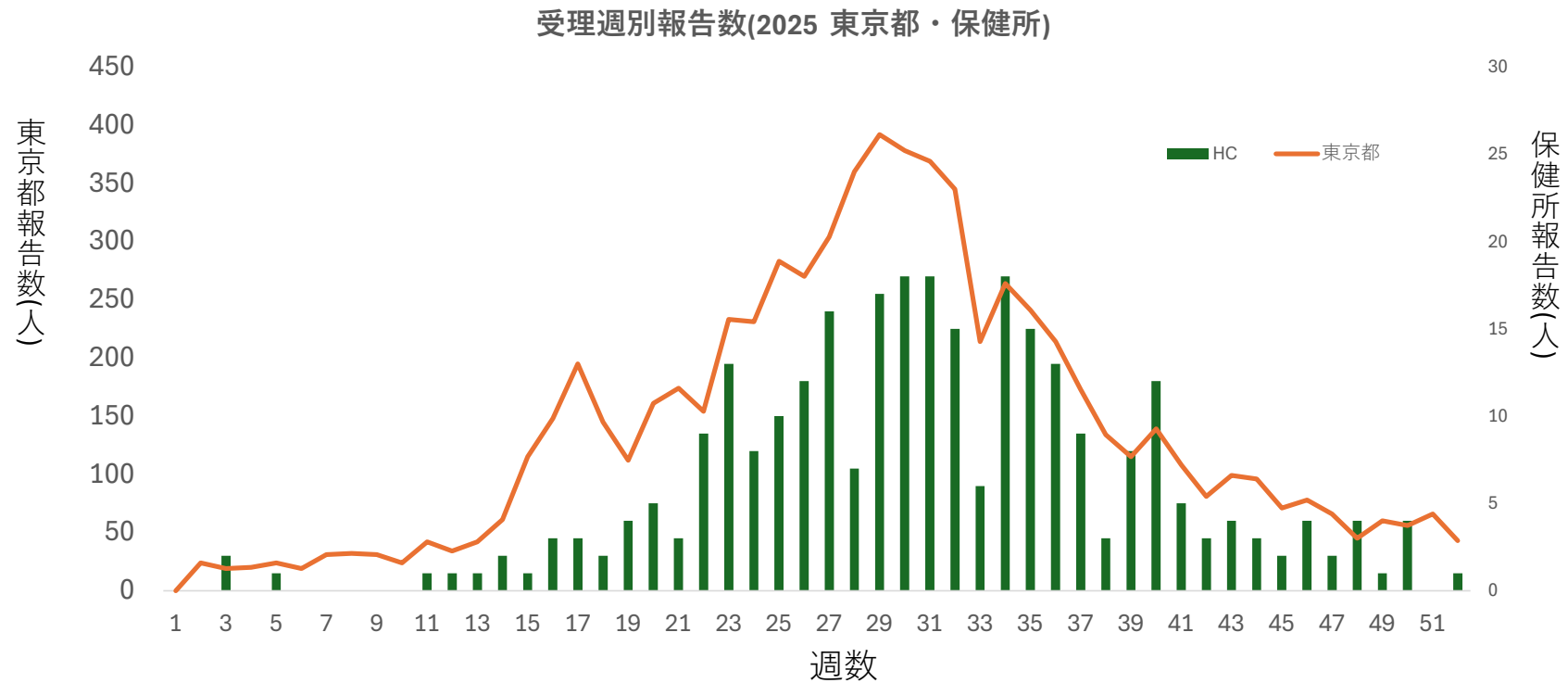
傾向：管内は全国や東京都の罹患率と比較しても低い値で推移している

結核年齢階級別発生状況



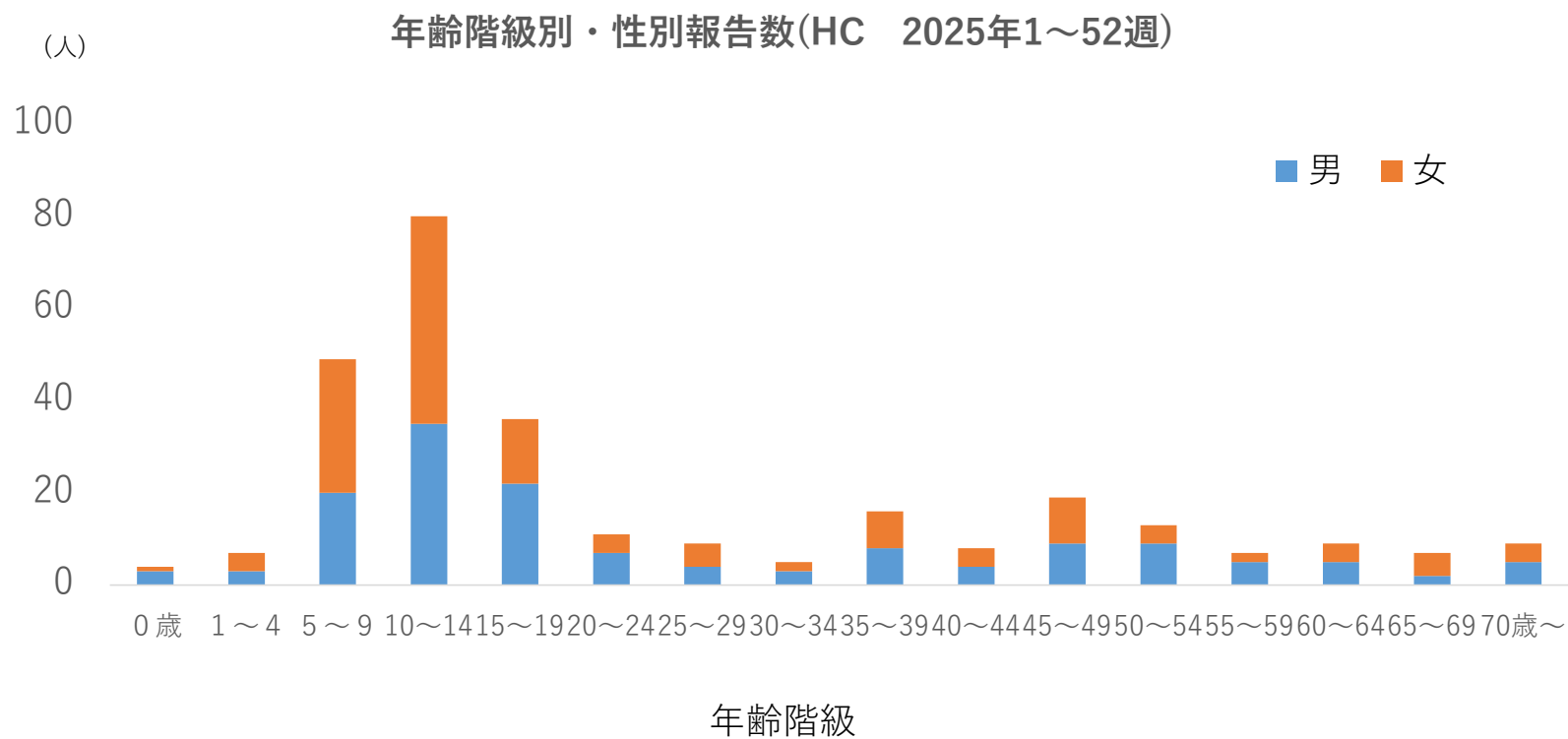
傾向：管内は国、都に比べ80歳以上の高齢者の罹患率が高い
 2023年に0~4歳以下で1名発生あり（家族からの感染）

百日咳受理週別報告数の推移



傾向：東京都全体では29週をピークに減少、保健所管内では34週をピークに減少

百日咳年齢階級別・性別報告数



傾向：性別差はほぼなく、年代では学齢期が多い

集団発生の状況

感染症集団発生時等における積極的疫学調査数

集団発生とは、概ね1週間の間に関連した10名以上の感染者が報告されること。

令和7年度：4月～12月末日現在 施設数（件数）

	インフルエンザ	新型コロナウイルス	感染性胃腸炎	その他
対応総数	119	43	21	45
一時相談	9	9	3	13
集団対応	110	34	18	32
集団対応のうち訪問	1	19	9	4

傾向：例年に比べインフルエンザの流行が早く、10月～12月にかけて保育園を中心に多くの報告があった
訪問調査は新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎が多い

今年度のトピックス

社会福祉施設職員向け研修会『感染症基礎研修』

第1回

第2回

日程	1日目:令和7年7月15日(火) 2日目:令和7年7月24日(木)	1日目:令和7年11月21日(金) 2日目:令和7年12月3日(水)
対象	高齢者施設職員(入所型)及び市職員	保育施設職員及び市職員
内容	<1日目> 第一部 講義 (1) 感染症の基礎知識 (2) 呼吸器感染症の対策 第二部 講義と実技 (1) 標準予防策 (2) 手洗いとPPE着脱訓練 <2日目> 第一部 講義 (1) 腸管感染症の対策 (2) 集団発生時の対応 第二部 実技 嘔吐物の処理	<1日目> 第一部 講義 (1) 感染症の基礎知識 (2) 保育施設で流行しやすい感染症 第二部 実技 手洗いとPPE着脱訓練 <2日目> 第一部 講義 (1) 腸管感染症の対策 (2) 集団発生時の対応 第二部 実技とグループディスカッション (1) 嘔吐物の処理 (2) 参加者同士の意見交換
参加人数	延べ 84名	延べ 68名

研修の様子

両回とも定員を上回る申し込みがあり、地域ニーズは高かった。保育園向けはコロナ禍以降初めて。参加者同士の意見交換も好評であった。次年度も継続的に企画予定。



PPE(ガウン・手袋・フェイスシールド・マスク)着脱



手洗いチェッカーによる手洗いチェック



嘔吐物処理訓練